

# 平成22年度補正予算

12月定例会は、12月8日から22日までの15日間の会期で開催されました。一般会計補正予算をはじめ、町立学校設置に関する条例の改正、9月議会で継続審査としていた21年度決算など22議案を審議し、いずれも可決・認定しました。

## 障害者自立支援の医療給付や 私立・広域保育所の運営費など

一般会計 2億5376万円を追加

### 一般会計

#### 補正予算第5号

(全員賛成で可決)

本補正予算は、歳入で、長引く景気低迷の影響を受け個人町民税が減額となるとともに、中学校校舎耐震補強工事が完了し事業費が確定したこと、国庫補助金などを減額することから、国庫補助金などを減額する一方で、固定資産税の増額や過疎地域指定に伴う過疎対策事業債並びに退職手当債を増額するなどとなっています。

歳出では、障害者自立支援の医療給付が増えたことや私立・広域保育所等への入所児童が増えたことによる運営費負担金の増額を行っています。また、病院事業債の一部を過疎対策事業債に組み替えたことにより、通常の後期分繰出金の補正額に起債組み換え分を加算した補正を行って

います。下水道事業債についても、一部を過疎対策事業債に組み替えた結果、下水道事業特別会計への繰入金を増額しています。さらに依願退職者に支給する退職手当の増額や中学校校舎耐震補強工事の完了に伴う工事費の減額をしています。これらの財源として、地方特例交付金、普通交付税、国・県補助金及び財政調整基金からの繰入金等を充て、歳入歳出それぞれ2億5376万円を追加し、予算総額を64億9960万円としています。



耐震補強工事が完了した北中学校の校舎

### 補正の主なもの

#### 歳入(収入)

町民税減額	△4,031万円
固定資産税追加	1,241万円
民生費国庫負担金追加	2,121万円
民生費県負担金追加	1,491万円
教育費国庫補助金減額	△1,355万円
町債追加	2億3,960万円

#### 歳出(支出)

財政調整基金費減額	△1億0,844万円
障害者自立支援費追加	2,994万円
児童福祉施設費追加	5,231万円
乳幼児医療対策費追加	1,104万円
保健衛生総務費追加	1億4,657万円
下水道総務費追加	8,352万円
中学校管理費減額	△2,610万円

### その他の予算

特別会計補正予算4件は、全て全員賛成で可決しました。

- 鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計(第3号)
- 鞍手町国民健康保険事業特別会計(第3号)
- 鞍手町病院事業会計(第2号)
- 鞍手町介護老人保健施設事業会計(第2号)